

はくば 白馬

議会だより

129号

「リハーサルどおり上手くできるかな？」

本番前でとっても緊張

4月から授業で準備 高校生レストラン(白馬高校)



■ 村政を問う 一般質問 7p

- ・ 宿泊税が廃業を加速するとの懸念は8p
- ・ みらい観光税の今後の検討計画は9p
- ・ 防災行政無線更新で行政区問題解決を 10p
- ・ 観光局と振興公社との統合は 11p
- ・ 8ヵ月8時間程度の論議は拙速では 12p
- ・ 一刻も早いスクールバスの運行を 13p
- ・ SDGs への取組は 14p
- ・ 財源不足 54 億 7 千万円の算出方法は 15p

■ 後期委員会構成

充実した審議で

活力ある村づくりをめざします2p

■ 常任委員会審議

消費税増税対策

プレミアム商品券事業 4p

3年間で1億885万円を投資

ドローン活用で空輸問題の解決を探る 5p

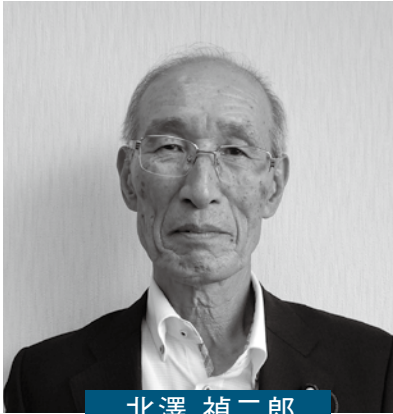
■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 18p

後期委員会構成

りをめざします

総務社会委員会

総務課・税務課・住民課・健康福祉課・教育委員会・議会事務局・会計・選挙管理委員会・監査委員・その他委員会に属さない事項の審議。
丸山・田中(麻)・太谷・加藤・津滝・北澤



北澤 禎二郎
議長

五月の臨時会において、再度議長に選任されました。議会を代表してその一端を担う責任の重大さを、改めて感じているところであります。執行権限を持つ執行部と、議決権限を持つ議会側とのそれぞれの権限を尊重し合い協力して、村民の負託にこたえるように白馬村村政を作り上げていきたいものであります。議員のなり手不足、観光財源の検討等、すぐ手を付けなければならぬことが目白押しです。

新たな意欲と抱負のもとに、明るい住みよい村の建設に尽くして参りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



丸山 勇太郎
委員長

後半2年の新たな役割を頂きました。頑張つて働きます。



子育て世代・女性の目線でしっかり提言します。
田中 麻乃
副委員長
議会報委員長



太谷 修助
委員

おらかな心で、村民の皆様へ届けられるサービスを追求します。



加藤 亮輔
委員

小水力発電事業と村内循環バスの運行を目指します。



住民の声に対応できる、議会改革にシッカリ取り組みます。
津滝 俊幸
委員
議会運営委員長

議会運営委員会(5人)

副議長、各常任委員長及び常任委員会から1名選出し5名で構成。議会の運営に関する事項及び議会に関する条例、規則等を審議します。

津滝・田中(榮)・太田(伸)・丸山・伊藤

産業経済委員会

観光課・農政課・建設課・上下水道課・農業委員会に関する事項の審議。

伊藤・横田・太田(正)・松本・田中(榮)・太田(伸)

充実した審議で 活力ある村づく



委員会活動を活発にし、皆さんと共に考える場を目指します。

伊藤 まゆみ 委員長



太田 伸子
副議長

この度、臨時会において副議長に選任いただきましたことは、たいへん光栄に存じますとともに、責任の重大さを痛感しているところでございます。白馬村の宝物、子どもたちを大切にいつくしみ育てる、若者が希望を持って帰れる環境づくり、明るい活気ある村づくりを目指します。議長の補佐役として、議会の円滑な運営に努めると同時に、村民の皆様の負託にこたえ続けられる議会でありませうよう努力してまいります。

任期中、さらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



見て、聴いて、三步前進。若者に夢を・村民の幸せを目指します。

横田 孝穂 副委員長



適時適切な政策提言と、成果等を厳しくチェック。

松本 喜美人 委員



地域住民の声を実現し、地域発展のため努力します。

太田 正治 委員



「村ごと運動公園を目指します」これが私の信念です

田中 榮一 委員

議会報調査編集特別委員会(7人)

副議長及び、常任委員会から各3名選出し7名で構成。議会の動き、審議内容の解りやすい議会報の作成を行っています。

田中(麻)・太谷・太田(正)・伊藤・松本・加藤・太田(伸)

総務社会委員会

● 税条例の一部改正

住民税申告事項の簡素化、軽自動車税納付特例の改正など。自動車税は、自動車取得税が廃止され、新たに環境性能割と種別割になる。

問

環境性能割の中味は。

答

軽自動車税の取得税は廃止され、10月1日から1年間50万以上は1%に減額。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 一般会計補正予算(第1号)所管事項

予算総額に歳入歳出それぞれ5184万4千円を追加し、63億6884万4千円とするもの。

総務課

景観形成事業55万円の増は、景観計画の印刷費。地球温暖化対策事業501万円は、日本EVクラブと連携し、カーシェア、展示・試乗会の実施。

防災事業49万9千円は、防

災行政無線更新事業を公募型プロポーザルで決めるに当たり、有識者から助言を得る費用。

問

有識者とは誰かとするのは。

答

信大の不破先生と、(二財)高度映像情報センター。設計を含めたプロポーザルであり内容の精査が必要で、専門家の意見を求める。

健康福祉課

プレミアム付き商品券事業1843万9千円は、10月予定の消費税引き上げ対策。住民税非課税者と、3歳以下の子どものいる世帯が対象。2万円で2万5千円分の商品券の販売。経費は全額国庫補助。

保健予防事業費は、母子保健事業を子育て支援課に移管し減額。風しん追加対策に伴う抗体検査と予防接種費用を増額。

問

対象世帯数と使える場所は。

答

2250人を想定。引換券または引換券申請書を送付。10月1日以降商工会窓口で販売。村内事業所のみで使用可能。

子育て支援課

健康福祉課から移管された母子健康事業の差額補正。

生涯学習スポーツ課

施設管理委託料のプール監視員業務を体育協会に委託。会計年度任用職員制度への移行に先立ち、現行の雇用方法を踏襲したため。

税務課・住民課・教育課

人事異動に伴う人件費の補正のみ。▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

予算総額から歳入歳出それぞれ72万2千円を減額し、11億467万8千円とするもの。人事異動に伴う人件費の補正。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 陳情第8号・陳情第10号

「辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見

書の採択を求める陳情」。

※両陳情は同タイトル・同内容の陳情。

陳情趣旨は、辺野古新基地建設工事中止と、普天間基地の運用停止。全国民で普天間の代替施設が国内に必要か否か、当事者意識を持った国民的議論が必要。一地域への一方的な押しつけとならないよう、公正で民主的な手続きによる解決を採決し、国に意見書提出の陳情。

○ 普天間基地はいらない。住んでいない人間には分からない。判断材料が不足している。要望の一部に反対のため慎重に判断すべき

○ 普天間基地はいらない。住んでいない人間には分からない。判断材料が不足している。要望の一部に反対のため慎重に判断すべき

で継続審査。

○ 基地が沖縄偏在は大変なことだが、誰もが迷惑施設を受け入れたくない。正義感だけでは語れず、沖縄県民の気持ちに添うとすれば趣旨採択。

▽ 陳情第8号・陳情第10号は、委員長を除く委員多数の賛成により趣旨採択。

● 陳情第9号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出の陳情

新たな過疎対策法の制定を要望する意見書の提出。▽委員長を除く委員全員の賛成により採択。



埋め立てが進む辺野古基地建設予定地

3年間で1億885万円を投資 ドローン活用で空輸問題の解決を探る

産業経済委員会

●白馬村森林整備基金条例の制定

森林環境譲与税の譲与にあたり、基金条例を制定するもの。本年度270万円を予定。

問 5年間で1億650万円の譲与税は3〜4年後に活用か。

答 この1〜2年で計画を立て、3年目から支出を考えている。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●白馬村山小屋条例の一部を改正する条例

改正の内容は、空輸費の高騰、消費税増税に伴い宿泊料金の値上げをするもので、施行日は令和元年7月1日。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●一般会計補正予算(第1号)所管事項

観光課

人事異動に伴う141.9万

5千円の増額。

観光宣伝振興費3400万円は次世代型ドローン活用事業に1700万円が交付決定されたことに伴う増額。白馬岳頂上宿舎と天狗山荘に寝具100組300万円。

大型ドローン2機による物資輸送、アウトドア・アクティビティ映像制作システム、遭難者捜索の実証実験、自然環境調査に計2100万円を

白馬村山岳ドローン物流実用化協議会へ負担。ハクババレーアプリ改修、インバウンド誘致費用1000万円を

観光局へ負担。3年間で総額1億885万円の事業。

問 今後の物資輸送の負担割合は。

答 今年度は交付金事業でまかなうが、その後は輸送会社に対して輸送量に応じた輸送費を山小屋会社が負担する予定。

問 ハクババレーの情報発信とアプリの改修の金額の内容は。

答 主にアジア圏のグリーンシーズンのプロモーションで、台湾、香港のグループを呼ぶ渡航費、滞在宿泊費

と撮影費に500万円。アプリ改修の500万円はバスのロケーションシステム。

問 観光局当初予算6932万円に、更に1000万円プラスになるのか。

答 アプリ改修は純増分。情報発信も当初見込んでなかった事業。重複部分は村負担金を減額。

農政課

補正の主なものは、人事異動に伴う153万7千円と、林業振興費の270万円の増額。

問 譲与税の基金積み立てに問題はないか。

答 北アルプス地域振興局林務課と5市町村統一で会議を持ち、基金に積み立てることとした。基金積み立てに問題はない。

建設課

主なものは、一般職員の給与に係る補正と、道路新設改良費1842万2千円の減額など。

問 国庫補助交付金の減

額の内容は。

答 消防署前道路の新設改良工事に約4000万円を要望したが、700万円の交付決定だったので改良工事として進める。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●水道事業会計補正予算(第1号)

水道事業費用に676万円を減額し、総額2億7383万円。資本的支出に59万7千円を増額し、総額1億2853万5千円とするもの。主な内

容は、人事異動による給料等。▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●下水道事業会計補正予算(第1号)

収入は下水道事業収益に62万4千円増額。支出は下水道事業費用に62万4千円を増額。収入支出それぞれ総額5億6996万7千円。主な内容は営業収益と人事異動による営業費用の増額。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。



6月定例会は12日から21日まで行われ、報告2件、承認9件、議案7件、陳情3件、最終日に追加議案1件、同意1件が上程されました。

白馬村山小屋条例の一部を改正する条例について

〔質疑〕加藤亮輔 議員

問 山小屋の宿泊料金を1万円から1万2千円にあげるが、県下の料金状況は。

が、今年の料金は。

答 同じ山域の宿泊料金を調査し、空輸費の高騰、消費税の増税等を想定し、作成した。上限額の改正を提案。

答 宿泊料金は、指定管理者が村長の承認を得て定める。指定管理者から提案があれば、その価格の妥当性を判断し承認していく。

問 人気の槍ヶ岳は、1万3百円、北穂小屋1万2百円。差がある。段階的に値上げするとの説明だ

追加議案 工事請負契約の締結について

ウイング 21高屋根雨漏りの大規模修繕のため、契約金額1億1千万円（株）相模組白馬営業所と工事請負契約を締結する。

〔質疑〕丸山勇太郎 議員

問 請負業者との仮契約で、瑕疵担保責任条項は

保責任を負うのか。

答 判断がつかない場合は、両者に損害賠償請求する。

答 重大な瑕疵があった場合の請求期間、及び屋根材の保証書ともに10年間。

問 瑕疵担保責任期間を20年とする考えは。

答 民法上は10年であり、法より延長する考えはない。

問 雨漏りが止まらず、それは設計が悪いのか、施工が悪いのか判断がつかない場合は、誰が担

● 令和元年第2回白馬村議会定例会処理結果一覧表 ●

件名	議決結果
白馬村水防協議会条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 賛成:全員
平成30年度白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書について	
白馬村税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第10号)の専決処分報告について	
平成30年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告について	
平成30年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告について	
平成30年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告について	
平成30年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について	
平成30年度白馬村水道事業会計補正予算(第5号)の専決処分報告について	
白馬村森林整備基金条例の制定について	可決 賛成:全員
白馬村税条例の一部を改正する条例について	
白馬村山小屋条例の一部を改正する条例について	
令和元年度白馬村一般会計補正予算(第1号)	
令和元年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	
令和元年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)	
令和元年度白馬村下水道事業会計補正予算(第1号)	
工事請負契約の締結について	
白馬村監査委員の選任について	追加議案
新たな過疎対策法の制定に関する意見書	
工事請負契約の締結について	可決 反対:なし
白馬村監査委員の選任について	同意 反対:なし

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

質問内容

- ・ 宿泊税が廃業を加速するとの懸念は…… 8p
- ・ 8ヵ月8時間程度の論議は拙速では…… 12p
- ・ みらい観光税の今後の検討計画は…… 9p
- ・ 一刻も早いスクールバスの運行を…… 13p
- ・ 防災行政無線更新で行政区間解決を… 10p
- ・ SDGsへの取組は …… 14p
- ・ 観光局と振興公社との統合は…… 11p
- ・ 財源不足54億7千万円の算出方法は … 15p

フォトニュース



グリーンスポーツで塩の道祭り完歩者を迎える八方太鼓の子どもたち。

問 宿泊税が廃業を加速するとの懸念は

答 宿泊者の減少につながるわけではない



伊藤 まゆみ 議員

【観光行政】

問 宿泊業者421軒が宿泊税に対し「徴収義務を果たさない」として「決意書」を提出。このような行動の背景にどのような思いがあったとの認識か。

答 ①観光客の理解が得られるか、②宿泊者から徴収できずに持ち出しになる可能性、③消費税増税や入湯税、各種会費等さまざまな金銭的負担が既に存在、④労働力不足の中で徴収の公平性についての疑問など。

問 今後の予定は。

答 決意書と検討委員会の中で懸念事項をあわせ制度設計に生かしていく。制度設計と使途の骨子案など方向性の目途がついたら、事業者説明会やパブリックコメント等で意見を徴収する。

問 大型宿泊施設の建築予定が相次いでいる。宿泊税導入で宿泊業者をさらに圧迫し、これまで以上に宿泊業者を廃業に追い込むとの懸念はないのか。

答 阿寒湖温泉における入湯税引き上げや、平成26年の消費税増税後の経緯など、報告書では「税を含んだ料金の値上げが、このまま宿泊者数の減少につながるわけではなく、適切な税額の設定や使途の明確な説明等により、観光客から協力を得ることは可能」となっている。

問 村長の観光局代表理事就任はどのような効果をもたらすとの決断だったのか。また観光局がどう変わると期待できるのか。

答 村全体の将来を見据えた中で観光事業の占める役割と責任が大きく、村のリーダーである村長こそが代表理事を務めるべきだとの意見。対話と協働で多くの村民から信頼を得られる観光局を目指す。

問 3市村DMOはどんなビジョンを描いているのか。

答 間接的に関連する農業や商業、交通等の幅広い事業者を巻き込み、エリア内の観光資源、文化、産物、人物に至るあらゆる資源を総動員し、世界から選ばれられる山岳観光地域を目指す。

問 国は地方がどうすべきと言っているか

答 市町村はフルセット行政注から脱却を

「自治体戦略2040構想研究会」報告と当村への影響」

問 この研究会に諮問した理由で、国が挙げている一番の課題は何か。

答 国は人口減少と高齢化を挙げており、この中で持続可能な地域をつくるためにはどのような対応が必要なのかを議論。地方はどうすべきと言っているのか。

答 ICT活用を前提とした「スマート自治体への転換」、自治体職員の減少、地縁組織・家族扶助機能低下、民間事業者撤退を踏まえた「公共私によるくらしの維持」、個々の市町村のフルセット行政注から脱却する「圏域単位での連携」。

注フルセット行政とは、市町村が単独であらゆる公共施設等を揃える形態。

有名観光地の比較表

単位 千円	白馬村	小布施町	倶知安町	湯沢町	箱根町
一人当たり所得	1,023.2	1,211.1	1,578.7	1,122.3	1,541.3
宿泊業等売上額	12,088,000	1,323,000	5,506,000	19,870,000	66,654,000
一人当たり売上額	4,784	4,846	5,387	7,771	8,332
宿泊業等従業者数(A)	2,527	273	1,022	2,557	8,000
うち宿泊業(a)	2,095	21	415	2,059	6,292
q/A*100	82.9	7.7	40.6	80.5	78.7
人口比 a/P*100	22.7	0.2	2.8	25.0	52.6
うち飲食業(b)	395	237	520	464	1,581
b/A*100	15.6	86.8	50.9	18.1	19.8
人口(P)	9,244	11,063	15,018	8,235	11,968
町村類型	Ⅱ-2	Ⅲ-0	Ⅲ-2	Ⅱ-2	Ⅲ-2
歳入総額	6,453,422	5,033,623	9,281,092	7,002,477	10,369,668
歳出総額	6,215,376	4,602,960	9,058,223	6,477,058	9,906,839
町村税(R)	1,483,103	1,157,846	2,678,840	3,755,369	6,483,200
(歳入比%)	22.98	23.00	28.86	53.63	62.52
町村民税(S)	403,623	536,889	1,204,603	629,713	1,082,160
S/R(%)	27.2	46.4	45.0	16.8	16.7
固定資産税(K)	928,109	531,444	1,150,257	2,914,267	4,494,727
K/R(%)	62.6	45.9	42.9	77.6	69.3
入湯税(H)	44,134	344	38,481	111,863	717,890
徴収義務者数	102	-	10	80	450
1軒当たりの徴収額	432.7	-	3,848.1	1,398.3	1,595.3

出典：傘木宏夫氏による公民館講座「お金のはなし」資料 一部伊藤加草

村内宿泊業従業者は2000人強、4～5人に1人という割合。

村はこの大切な雇用の場、生業を維持するのに全力投球すべきでは…。

問 みらい観光税の今後の検討計画は

答 具体的なスケジュールは組めていない



太田 伸子 議員

【観光財源及び事業】

問 白馬村観光振興のための財源確保検討委員会の答申を受けて、今後の行政の検討計画は。

答 藤本副村長 庁内でも考えているところであり、具体的なスケジュールは正直組めていません。

問 村長の言う、財源確保のための超えなければならぬ壁とは。

答 村長 様々な意見があることは十分認識していません。観光事業者、一般村民から出た意見を含め取り組んでいきたいと思っています。

います。

問 (一社) HAKUBA VALLEY TOURISM

は、索道事業者が広域的プロモーションを推進している。白馬村の負担金は。また、白馬村DMOを、観光局で申請しているが、どのような事業計画か。

答 村長 本年度の負担金は、白馬村と大町市、小谷村がそれぞれ700万円。白馬村DMOは、観光局が日本版DMO候補法人として登録されており、本登録を目指し達成目標等の整合に向けた調整を重ねています。

問 広域型DMOが索道事業者の役員で、インバウンド関係に向けたプロモーションボードや外国へ向けた事業を展開するのであれば、白馬の観光局は索道事業者ではなく宿泊事業や飲食業、お土産店、建築等村内全体で観光局を盛り上げ、ブランド観光を推進する考えは。

答 村長 いろいろな課題を乗り越えること

によってこの地域の連携、白馬村の観光が育つことを願っています。

問 議案第32号一般会計補正予算の中の観光宣伝振興費3400万円の

内容が、議会も始まらないうちに新聞報道されたが、いかがなものか。

答 村長 できるならば事前に説明してからと、思っています。

問 国の人材支援制度で就任されている藤本副村長は、今定例会が最後になると思うが、白馬に対する思いやアドバイスを。

答 藤本副村長 小さな村、その規模以上に観光を中心に民間の活力が非常にある地域と感じました。国内外からの方々が来て起業し、新たな動きが本当に速いペースで起こっている地域で、非常に可能性があると思っています。白馬村外では、観光を含め非常に高い評価をいただきます。しかし、村内のまとまりがなかなかないのが、この地域性としてあるのが残念な

ところで、これだけの活力のある地域が一つにまとまり一定の方向性を出していけば大きく物事が変わるのではと考えています。国に帰っても陰ながら応援したいと思っています。



観光局主催 塩の道祭り

問 防災行政無線更新で行政区問題解決を

答 他施策の為に各戸調査には乗り出す



丸山 勇太郎 議員

問 防災行政無線と行政区問題

問 3億円を投下する防災行政無線のデジタル化と、情報のスマホアプリへの配信には、普及率向上は必須。これは行政区問題解決の絶好の機会。目指す普及率は。

答 公募型プロポーザルで方式と発注先を決定する。1つ目の方式では個別受信機はほぼ100%、アプリ普及は4割程度。2つ目の方式では屋内機は通信料が発生するため希望者のみ、アプリは6割以上の普及を目指す。いずれにす

るかは決まっていない。

問 そもそも目指す普及率の分母となる数字

がない。それは住民登録世帯数ではない。コミュニティ単位で行う行政サービス(防犯・防災、ごみ)を提供する世帯数でなければならぬのでは。分母がなく普及率も何もない。足で全施設を回って今度こそ実態把握に努める考えは。

答 確かに村として持っている数字。観光統計の上でも、観光財源検討の上でも必要

であり、各戸調査に踏み出していききたい。特に外国人施設把握はいち早く動き出す意向。

問 宅内受信機を無償で配って行政区加入を

促す施策を同時に行うのは、無償とする。

答

問 外国人に秩序ある開発基準を示せるか

答 景観計画にどこまで盛込めるか努める

問 開発の基準と指導

問 4999㎡という案件が現実に出てきている。ほとんど出ない延床面積5000㎡以上の大規模開発基準のみを2年前に見直した村長の意図は。

答 インバウンドで海外からのお客様が増え、富裕層をターゲットとした今後の開発はどうあるべきかを考える時期が来たかと判断した。

問 必要だったのは大規模基準見直しではなく、外国人に秩序ある開発のルールを示すこと。その

ために必要なルール改正をすることだ。どういう村にしていくかのビジョンを示すこと。外国人の不動産買いは明らかに投機目的。倶知安町をみれば分かる。いずれアジア資本に所有は代わっていく。そういう前例を活かせないか。

すこと。外国人の不動産買いは明らかに投機目的。倶知安町をみれば分かる。いずれアジア資本に所有は代わっていく。そういう前例を活かせないか。

答 倶知安町は「景観地区条例」を作った。これは本村が現在進めている景観計画策定に沿った条例であり参考にした。長野県の基準より緩くする考えはない。様々な意見を聞いて景観計画で定めた。

問 現行2段階だけの建ぺい率には階段差があり過ぎる。一度は作った

答 倶知安町は「景観地区条例」を作った。これは本村が現在進めている景観計画策定に沿った条例であり参考にした。長野県の基準より緩くする考えはない。様々な意見を聞いて景観計画で定めた。

問 大規模基準も相対的に

答 ご意見として伺い前向きに検討する。

問 今度こそまちづくりのビジョンをしっかりと示し、必要な庁内体制整備と、精通する職員を育てることが出来るか。村の責任は増している。

答 村長村としてどこまで出来るか検討していく。



外国人所有施設は増える一方。だが、そのほとんどは投機目的と思われる。

問 観光局と振興公社との統合は

答 事業連携の可能性を模索



田中 榮一 議員

を目指す。

問 村長は、観光局と白馬村振興公社、2つの代表理事就任となったが、将来的に1つに統合する考えは。

答 現段階において、統合といったことは念頭にないが、事業協調・事業連携の可能性を模索していく。

問 白馬ジャンプ場とスノーハーブクロスカントリースカ場は、利活用という面で利用者が減少している。今後観光振興という観点から、観光課もしくは観光局に管理を移管してもいいのでは。

答 スポーツ競技施設の維持管理を移管することは考えていない。観光課や観光局と更なる連携を図りながら施設の魅力を高めていく。

問 【観光局と組織改革】
村長は、観光局代表理事に就任したが、観光振興はトップリーダーとして村民一体となつての取り組みが求められる。運営方針は。

答 役割は、民間事業者や観光団体、社員の方々、そして白馬を訪れる沢山のお客様のご意見に耳を傾け、観光事業の行き先を示すことに尽きる。多くの方が思い描く「マウンテンリゾート・白馬」の未来を具現化できるように努め、世界中から季節を問わずお客様に訪れていただく白馬

問 観光資源として村文化財の活用は

答 人材を育てながら進める

問 【村内文化財の利活用】
教育委員会発行の書籍「白馬の文化財」を紐解くと、国指定の重要文化財 特別天然記念物、県指定の天然記念物・県宝、村指定の文化財等、その多さに驚くと共に故郷の良さと歴史の厚みを感じる。執筆者は「本書が、一つの契機となつて新しい白馬の創造につながるれば望外」と記している。白馬の文化財を村民と共有し、観光資源として更なる取り組みを期待するが。

答 地域づくりは、地域を知り人材を育てる事が重要。地域資源、観光情報を積極的に発信するための

ボランティアの育成を公民館事業で実施している。今後、村内地域を巡るルートを設定しつつ、面的な広がりを持った観光振興につながる事業として進めていく。

問 訪れるお客様に白馬産米を

答 更なるPRをしていく

問 【農業振興】
全国うまい米品評会において入賞を果たしている担い手農家が存在し、白馬産米の名前を全国に発信している。うまい米を白馬に訪れるお客様に提供することは農業振興や観光振興にもつながる。村民や宿泊業の方に地場産米消費を促す考えは。

答 村内ホテル、旅館で白馬産米を使っていたり、

行っている。道の駅などでご飯のうまさを引き出すメニューを工夫するなど、村内の方々にPRを行っている。



農業振興の役割も担う給食センター（議員試食会に出されたメニュー）

問 8カ月8時間程度の論議は拙速では

答 他の委員会より丁寧にやったつもり



太谷 修助 議員

問 わずか8カ月で8時間程度の論議での報告では拙速ではないか。

答 検討委員会では8名の委員、3名のオブザーバー、29名のワーキンググループ(WG)で6回の委員会と3回のWGを開催。検討委員会は諮問機関であるので、報告書の内容を踏まえ、低価格帯の民宿、ペンション等にとって負担感が大きいことや、観光客の理解が得られるかなどの懸念事項に考慮しながら慎重に検討したい。プロセスは他の自治体の観光財源検討の手続きより、また村内の他の委員会よりも丁寧に行ってきたつもりだ。しかし、これで村の方針が確定したというものではない。引き続き庁内で整理していく必要がある。

問 意見書の提言内容は。

答 ①官民を問わず観光への継続的な投資は必要、新たな観光財源を確保していくことが大切、観光施策の優先順位を決定する仕組み作りが必要である。②新たな観光財源は行政の一般財源とは切り分け、官民一体の組織で運用していくことが望ましい。③新たな観光財源のあり方は、「白馬のみらい観光税」として、宿泊税、登山協力金、ふるさと納税が有力な選択肢という、3つの提言があった。

問 検討委員会では8名の委員、3名のオブザーバー、29名のワーキンググループ(WG)で6回の委員会と3回のWGを開催。検討委員会は諮問機関であるので、報告書の内容を踏まえ、低価格帯の民宿、ペンション等にとって負担感が大きいことや、観光客の理解が得られるかなどの懸念事項に考慮しながら慎重に検討したい。プロセスは他の自治体の観光財源検討の手続きより、また村内の他の委員会よりも丁寧に行ってきたつもりだ。しかし、これで村の方針が確定したというものではない。引き続き庁内で整理していく必要がある。

問 昨年7月に村内の271施設の宿泊事業

者が検討委員会に「要望書」を提出したが、その後の対応は。また、5月28日には421施設の宿泊事業者が「特別徴収義務者」としての責務を果たさないとして「決意書」を村長に渡したが、考えは。

答 「要望書」は財源検討委員会に出されたものが説明、検討されたと聞いている。「決意書」には、消費税増税や入湯税、観光協会費、観光局の会費と、宿泊事業者も観光客にも様々な税負担が生じていることや、労働力不足で、税の説明、徴収、納付と徴収手続きの負担が大きいことなどがあげられている。それらの懸念事項と合わせ、今後の制度設計に活かしたい。

問 「環境基本条例の見直し」

答 平成31年1月時点で、土地659筆、面積は29万8492㎡(約30町歩)である。平成30年度の確認申請は99件、うち開発行為

問 村内の外国人所有の土地、面積は。また、3000㎡から5000㎡で確認申請されている件数は。

答 土地開発と環境保護は相反する事項だが、白馬連峰の眺望は何にもまして守るべき財産。国内外の人々を魅了しているがゆえに、行政、住民が考え続けていく永遠の課題である。

対象の3000㎡以上は3件。

問 土地開発と環境保護は相反する事項だが、白馬連峰の眺望は何にもまして守るべき財産。国内外の人々を魅了しているがゆえに、行政、住民が考え続けていく永遠の課題である。

答 平成31年1月時点で、土地659筆、面積は29万8492㎡(約30町歩)である。平成30年度の確認申請は99件、うち開発行為

問 村内の外国人所有の土地面積は

答 面積は29万8492㎡(約30ha)



大型ホテル建設計画予定地

問 一刻も早いスクールバスの運行を

答 前向きに検討したい

実施し、結果を地区児童会や保護者通知によってフィードバックしている。教育委員会では通学路交通安全推進会議による通学路交通安全プログラムを毎年実施をしている。今後も推進していく。



田中 麻乃 議員

【登下校時における防犯対策の推進】

問 5月28日に起きた川崎事件に加え、村内でも小学校低学年の生徒が、徒歩で下校途中に犬にかまれ、3針を縫うけがを負った事件があった。犬に噛まれた後、自宅に帰る30分間の間、誰にも会わず、助けを求められないまま帰った。あらためて子どもの安全をどう守るのが問われている。この件について村の対応と考える。

そうい状態にはなっていない。PTAの協力を得ながら空白区間をピックアップし見守りの家の協力をお願いしていきたい。

答 両小学校では、年度当初の集団登校の折に、通学路の安全点検活動を実施

い。降雪時の1、2カ月だけでも臨時のスクールバスを運行し、来年度からは予算化した上で通年運行いたいただきたいが村の考えは。

答 前向きに検討したい。

問 教員業務の見直しと改善の取り組みは

答 校長、教頭を中心に進めている

【学校における働き方改革】

村内における働き方改革の教員勤務実態調査の結果は、教職員1人当たりの時間外勤務の月平均

時間は、南小計35時間46分、北小計46時間7分、白馬中計51時間32分。全県の中学校と比較すると、南小は少なく、北小は1時間余り多く、白馬中は同等という結果。

勤務時間の管理システムの導入は。

現在は表計算ソフトによる集計システムを導入しているが自己申告。来年度に向けて研究している。

教師業務アシスタントを導入し、教員業務の削減、負担軽減をはかっていますか。

信州型コミュニティ・スクールの学校支援ボランティアに依頼できない

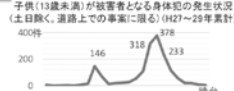
警察・教育委員会・学校間の情報共有
地域住民等による効果的な見守りや迅速な対応に資する情報の提供・発信
放課後児童クラブ・放課後子供教室等の安全対策の推進

子供の危険回避に関する対策の促進
防犯教育の充実
集団登下校、ICタグ、スクールバス等を活用した登下校の安全確保の推進

登下校防犯プランの概要

登下校時における子供の安全の課題

- (1) 子供の被害は登下校、特に下校時(15～18時)に集中。犯罪件数が減少する中、ほぼ横ばいで推移
- (2) ①既存の防犯ボランティアの高齢化、②共働き家庭の増加 → 「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている → 登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務



1. 地域における連携の強化

- (1) 登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」の構築
- (2) 政府の「登下校防犯ポータルサイト」による取組の支援



2. 通学路の合同点検の徹底及び環境の整備・改善

- (1) 通学路の防犯の観点による緊急合同点検の実施、危険箇所に関する情報共有
- (2) 危険箇所の重点的な警戒・見守り
- (3) 防犯カメラの設置に関する支援、防犯まちづくりの推進

4. 多様な担い手による見守りの活性化

- (1) 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」等の推進
- (2) スクールガードの養成、防犯ボランティア団体の活動等の支援
- (3) 「子供110番の家・車」への支援等

平成30年6月に新潟市で下校途中の小2女児が殺害された事件を受け、政府がまとめた登下校防犯プラン。スクールバス活用も推進されている。

いか、コーディネートと考えている。

生徒の欠席や遅刻をスマホやパソコンで連絡できるシステムを塩尻市が試験的に導入。教員や保護者にも好評。白馬村でも導入してみています。

校務支援システムに全県で取り組んでいきたい。

白馬村でも検討していきたい。

問 SDGs^{注1}への取組は

答 持続可能な開発は地方創生を推進



津滝 俊幸 議員

【SDGsへの取組】

問 SDGsの認識は。

答 2015年に国連で採択された、2030年までに達成すべき17目標と169のターゲット、232の指標から構成された「誰一人取り残さない、持続可能な社会をつくる為のモノサシ」として認識。

問 SDGsへの具体的取組は。

答 CO2排出量が少ないクリーンで再生可能なエネルギーとして、小水力発電。地球温暖化防止対策の「COOL CHOICE^{注2}」の

盛り込む予定。

問 ソーラーパネル設置についての規制または条例はあるか。

答 設置規制は無い。村の景観条例と県の指導に準じ対応している。今後は規制が強まるとの情報がある。

問 生ゴミ堆肥処理施設の検討は

答 重要な課題であると認識

【ごみ処理】

問 ゴミ減量のための4Rの推進状況は。

答 4Rとはリデュース（不要な物は買わない）、リデュース（ゴミを出さない）、リサイクル（資源として利用）、リユース（繰り返し使用する）で、ゴミの出し方ガイドブック等で内容を周知。また、小学校の環

境学習の一環として啓発活動を行っている。

問 市町村への産廃プラ焼却要請は。

答 焼却炉の稼働が95%と高いため、現時点では受入は困難。

問 外国人所有の不動産の実態調査は

答 新たな仕組みが必要

【外国人による不動産の所有】

問 外国人所有の不動産の実態調査と分析を早期に実施すべきでは。

答 課税の為の調査を行っている。県と共同で英語版のチラシを作成し、不動産関係者へ配布。納税管理者の選任や口座振替の推奨などを行ったが、不動産の動きや調査には限界がある。新たな仕組みが必要。

問 不動産管理者の設置を義務付ける条例制定、土地利用の運用規制の考えは。

答 地方税法などにより規制するのは難しい。関係者と方策を検討する。

注1: 2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発のための2030アジェンダにて記載された2016年から2030年までの国際目標。
注2: 2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



問 財源不足54億7千万円の算出方法は

答 人口減少で地方交付税が減少



加藤 亮輔 議員

【観光振興のための財源確保検討委員会の答申】

問 総務課の運営方針は、9月に観光財源の骨子案を決めるとなっているが。

答 案として載せた。現時点では決まっていない。

問 検討会資料「白馬村における財政の現状と課題」の中に、今後30年間で約54億7千万、年1億8千万の財源不足が見込まれるとあるが、その算出方法は。

答 これは、平成29年3月に策定された「白馬村公共施設等管理計画」の中

で、今後人口減少で、地方交付税の減少が見込まれる。歳出は公共施設等の更新や村債の返済等の影響で増える予想。その結果、今後30年間で約54億7千万円、年1億8千万円の財源不足が生じると推計。

問 人口減少で地方交付税が減少するとの事

だが、将来人口を2015年策定の総合戦略の人口目標値3案のどれを使って推計したのか。

答 総合戦略による上乘せ分の期待値を含めた人口を使用。

問 現在の職員数は207名だが、2030年

2040年の職員数を何人に設定して人件費を推計したか。

答 人件費は現状維持で算定。

問 10年、20年後の、固定資産税額及び、白馬高

校生徒数と、学校への補助金をいくらで推計したか。

答 詳細な推計はやっていない。

問 出国税の徴収が始まり、2019年度は

500億円前後の税収を見込んでいる。これで訪日客の受け入れや環境整備などを加速させるとして、全国約100カ所の観光地を公募して支援していくとの事だが、村は応募したか。

答 応募していない。観光を推進する組織と

問 400を超える宿泊事業者から反対の声があるが、村長は宿泊税を創設する考えか。

答 宿泊事業者の貴重な意見として受け止める。観光財源について、どのような形であれば観光客や観光事業者の理解を得て制度化ができるのか、庁内で調査・検討を行う。

問 パブリックコメントの充実に

【パブリックコメント（以下パブコメ）制度の充実に】

問 行政手続法第39条3では、パブコメの意見提出期間は30日以上となっている。公共交通網形成計画の提出期間は17日間。白馬村図書館など複合施設基本計画は20日間だった。実施期間を改善すべきでは。

答 法第39条で定められたものは、政令、府省令等、審査基準、処分基準、行政

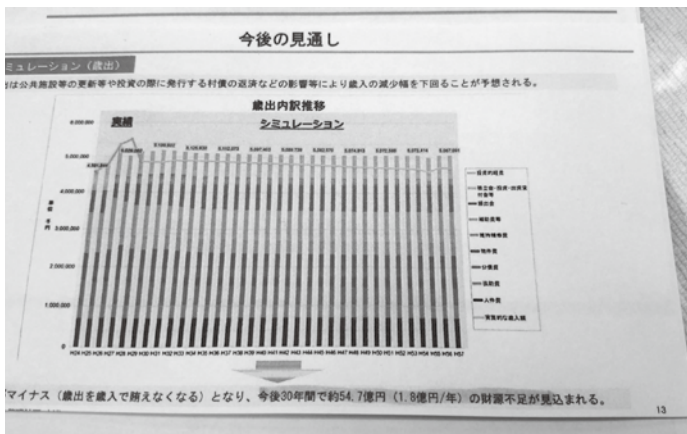
問 パブリックコメントの実施目的は

答 案の段階から開示し意見を収集、反映

指導指針等で、村の2つの計画は、行政手続法の規定にはあてはまらない。しかし、期間については配慮すべきと考える。

問 公共交通のパブコメでは29の意見に対して13の意見しか回答せず16は無回答。応募意見には回答すべきでは。

答 同意見はまとめて回答している。もし回答漏れがあれば配慮する。



第1回 観光振興のための財源確保検討委員会で、今後、30年間で約54億の財源不足が生じる財政見通しを掲載した、「白馬村における財政の現状と課題」資料2

総務社会委員会

公共施設における屋根形状について

(委員会及び本会議質疑から)



新設された学校給食センター

昨年度の中学校屋根トップライトからの雨漏り対策を中心とした大規模修繕に続き、今定例会には、ウイング21の雨漏り対策工事1億1千万円の請負契約議案が上程された。実はウイング21は完成以来雨漏りが続いている。

2つの工事を通じて明らかになっているのが、白馬村のような豪雪地帯における公共施設の屋根形状の問題だ。本村では、単純な切妻屋根が最も安全であることを、2つの事例は教えている。

12月に完成し本格稼働している学校給食センターにおいても、議会の指摘で屋根形状の設計変更がなされ、屋根全体が低くなり校舎からのロケーションが確保され、当初設計では不安視された雨漏りの心配も解消された。

執行部には、2つの修繕工事での多額の出費を、肝に銘じた教訓とすることを期待する。

産業経済委員会

プロジェクト・課題ごとに担当者とともに

産業経済委員会では建設課、農政課、観光課、上下水道課に関連することを主に審議いたします。特にこの村の基幹産業である観光に関することは屋台骨であり、十分検討されるべきことと認識しています。

今までも各課、商工会、観光局との懇談、意見交換、勉強会をやってきましたが、具体的な焦点を絞り込んだ形になっておらず、総花的な内容になってしまった反省があります。

そこで任期後半では、上下水道課とは企業会計、農政課とはほ場整備の進捗状況、商工会とは村内経済状況、また観光局とは白馬花三昧やフリーライド・ワールド・ツアー(FWT)などのイベントごとに担当者を中心に意見交換をし、プロジェクトの課題を掘り下げてPDCAサイクルで次年度に繋がるような形にしていきたいと思います。

また、こうした各団体との報告、意見交換の場に多くの住民の皆さんも参加してもらえるよう広報活動も併せてやっていきたいと思っております。



フリーライド・ワールドツアーなどのイベントごとに担当者から報告を予定

【事前告知】

村民の皆様と議会との『意見交換会』を実施します！

- 日時** 10月9日(水) 午後2時～4時まで
- 場所** ふれあいセンター2階学習室(役場駐車場横)
- テーマ** 「観光財源」と「大規模開発」について



全体意見交換と、いくつかのグループに分かれた意見交換を行い、意見の出やすい工夫をする予定です。9月定例会後に詳細をお知らせします。

あなたのご意見をお聴かせください！

富山県朝日町・白馬村議員連絡協議会(6月24日) ヒスイテラスを核に賑わいを創出



観光や町民の交流の場としても期待されるヒスイテラス

ヒスイ海岸が展望できるヒスイテラスは、美しい海を背景にテラスが観光交流、イベント等を通じてヒスイ海岸周辺の賑わいを創出し、町民が自由に集える場所としても期待されていると説明がありました。自然を活かした観光地の事例は白馬も学ぶものがあります。

朝日中学校から近く、部活動の生徒が利用しやすい場所に建設された武道館、屋内グラウンドを視察。生徒達はもちろん町民のスポーツ振興に役立っています。引き続き、両町村の良さや課題を共有しながら、議会活動に活かしていきたいと感じました。

松川村・小谷村・白馬村議会議員交流会(7月2日) 持続可能な世界の実現を目指して



講師をしていただいた長野県立大学の秋葉芳江先生

今年度の内容は、SDGsの初心者向けのガイダンス講演会で、講師に長野県立大学のソーシャルイノベーション創出センターの秋葉芳江先生から、SDGs入門編と題して講義をいただきました。

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標であり、環境・社会・経済分野において持続可能な世界を実現するための17の目標・169の標的・232の指標で構成され、誰一人として取り残さないことを誓っています。

世界で多くの国・地域・企業が、この手法による取り組みを推奨しています。

平成30年度議長交際費一覧

支払日	支払内容	金額
4月12日	平成30年度白馬建築業組合定期総会 御祝	5,000
5月8日	平成30年度白馬商工会総代会 祝儀	5,000
5月17日	平成30年度白馬山案内人組合総会 会費	5,000
5月23日	白馬食品衛生協会平成30年度定期総会 会費	5,000
5月28日	平成30年度平成29年度遭対協定期総会 会費	5,000
6月5日	朝日町議会との交流 献酒	4,320
7月31日	長野県治水砂防協会姫川支部新旧役員歓送迎会会費 5,000円×2人	10,000
10月12日	告別式 香典	10,000
11月8日	早起き野球白馬リーグ納会・表彰式 祝儀	5,000
12月14日	白馬村マレットゴルフ協会総会・懇親会 祝儀	5,000
12月28日	アルプスの会新年を祝う会 祝儀	5,000
2月5日	国会要望に係る手土産	2,430
2月28日	長野県町村議会議長会第28回定期総会 会費	3,000



表紙の写真説明

去る6月22日に白馬東急ホテルで行われた、白馬高校観光国際科2年生の高校生レストラン。ホテルで接客サービスを直接指導してもらい本番に…。約40名のお客様に、信州サーモンに食用花を添え「白馬華三昧」と名付けたサラダなど、地元の食材にこだわったメニューを提供。白馬ならではの露味噌をクリームチーズに和えたソースで頂く「白馬豚のコンフィ」は絶品!この地の特産メニューとして引き継いでもらいたいものです。

ご意見を
お寄せください。

85-0725(直通)
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える
6月定例会の傍聴者延べ14名
(本会議14名)

委員会も傍聴できます

次の定例会は 9月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

夢、私たちに。

わたしのひとこと



5人の子育て

八方 丸山 智彦

5人の子宝に恵まれ、子どもたち中心の日々。

長男が生まれた時、保護者欄に自分の名前を記入し、父親になった責任を感じた事が、いまではとても懐かしく思い出されます。その長男も中学生となりましたが、一番下はまだオムツのとれない年少さん。

「子どもには親が望む才能はなくとも、親がわからない才能がある」。この言葉を胸に、いろんなことにチャレンジさせてきました。白馬村ならではのウィンタースポーツをはじめ、サッカー、陸上、バイオリンやヒップホップダンスなど、たくさんの方たちのおかげでいろいろな経験を積み重ねて成長させてもらっています。

自営業のため、仕事の時間も休日も不規則で、子どもたちにも可哀そうな想いをさせる事が多いですが、これからも親も一緒に成長しながら、素晴らしい白馬村で子育てできる幸せを感じていければと思います。



地域で子ども達を見守る

森上 吉沢 清子

小・中・高校生のお子さんを持つご家庭では、毎日の登下校での心配事が付きものです。私自身も北小に通う子どもがいて、毎日安全に登下校しているか心配になります。

先日、1年生の娘が下校中に転倒し、手を怪我してしまい泣いていたところ、通学路沿いの商店の方が手当てして下さり、笑顔で帰宅。2年前、長男が登校中に村内放送でアラートが発信された際にも、区の方がご自宅に避難させて下さったという事がありました。

登下校中には、予想もしていないような出来事が起こる事がありますが、子ども達が日々安全に登下校出来るよう、私達大人が沢山の目で見守り、声をかける事がとても大切だと感じています。私の出身地の東京では地域の活動を見る事が無かったので、私自身も、子ども達を見守ってくれた方々のように地域に還元していければと思っています。



村にリターンして10年

白馬町 太田 豊茂

5月4日(土)、第40回塩の道祭りが開催され、天候に恵まれたこともあり、家族、団体、さらには海外からの観光客まで、ウォーキングイベントとして老若男女多くの参加者がありました。代かきをしたばかりの田んぼの水面に白馬三山が映り、その美しさに沢山のカメラが向けられ、私たちはこんな素晴らしいところに住んでいるとつくづく感じました。一方で、農業者の高齢化が進み荒廃農地の多さも目につきます。

フランスはインバウンドが8400万人と世界第1位です。しかも、EUで一番の農業国です。白馬も自然を活かした魅力あるイベントや農業の活性化が、両輪として機能すればと思うのです。

官民一体で交通機関の整備等移動手段が充実すれば、年間を通して大自然を満喫する人、里山の暮らしや人情味ある交流を楽しむ人・・・とインバウンド増が期待できそうです。

あ と が き

私達はいたずらに物欲を満たし、際限なく利便性を追求する社会を前提にしてはならず、何をあきらめるか明確にし、有った方が良いのか悪いのか、優先順位を決めて低いものは捨てるべきではないでしょうか。

首長や議員は何をあきらめるのかを選択しビジョンを村民に示し、政策の立案と決定の過程をオープンにして、そこに村民が加わって真剣に議論することが重要だと思えます。少子高齢化と持続可能な経済を回すことが求められているのだと思います。皆さんと一緒に議論しましょう。

(太谷 修助)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 北澤 慎二 |
| 委員長 | 田中 麻乃 |
| 副委員長 | 太谷 修助 |
| 委員 | 太田 正治 |
| 委員 | 伊藤 まゆみ |
| 委員 | 松本 喜美人 |
| 委員 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 太田 伸子 |